

世界の児童福祉をもっと身近に
感じる、学ぶ、活かす。

Web
マガジン
創刊！

世界の子ども福祉 ～実践と未来～

資生堂児童福祉海外研修の学びをベースに
専門家と研修修了者が語る、海外と日本の児童福祉。
資生堂子ども財団のウェブサイトにて公開スタート。

創刊にあたって

資生堂子ども財団 理事長 塩島義浩



公益財団法人 資生堂子ども財団は、1972年の設立以来、日本の児童福祉の発展において海外の先進的な取組みを学ぶことの重要性を認識し、資生堂児童福祉海外研修の実施や情報誌「世界の児童と母性」の刊行を通じて、諸外国の児童福祉情報の収集および発信に努めてまいりました。

「世界の児童と母性」は、メディア環境の変化に対応するため、2022年に第92号発行をもって休刊しました。しかし、より多くの方々に有益な情報をお届けしたいという想いから、その後継企画として、このたびWebマガジン「世界の子ども福祉～実践と未来～」という新たななかたちでの情報発信を開始いたします。

創刊号監修者

子どもの虹情報研修センター センター長
川崎 二三彦



「世界の子ども福祉～実践と未来～」が貴重な点は、海外研修に参加された方が、設定されたテーマに関する各国の取組みをわかりやすく紹介するだけでなく、そこで得られた情報や、自身が触発された点を現場でどのように生かそうとしたのか、具体的な実践も織り込みながら報告されていることです。

第1回テーマ

「アドボカシーと子どもの権利」

特別
寄稿

「カナダの子どもアドボカシーは
ここまでできている」



執筆者：菊池幸工

第41回資生堂児童福祉海外研修コーディネーター、NPO法人全国子どもアドボカシー協議会アドバイザー

「カナダでの学びを踏まえた日本における取組み
—児童福祉施設におけるフォーマルアドボカシー—」



執筆者：中村 有生

第41回資生堂児童福祉海外研修団員、兵庫県立清水が丘学園 心理治療士

「オーストラリアにおける政府～現場における
さまざまなレベルのアドボカシー」



執筆者：杉山 亜佳音

第47回資生堂児童福祉海外研修団員
社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会サンライズ万世 心理療法担当職員

「ニュージーランドに学ぶ、
声を変革につなげるアドボカシー」



執筆者：作田 惇人

第48回資生堂児童福祉海外研修団員、社会福祉法人みその児童福祉会岡山聖園子供の家 児童指導員

「声をあげることが、クレームにならない社会へ
—ベルギー視察を通して—」



執筆者：大塚 斉

第45回資生堂児童福祉海外研修団員、埼玉県立大学社会福祉子ども学科 教授

まとめ

「子どもの権利をめぐる日本の動き」

執筆者：川崎 二三彦

子どもの虹情報研修センター センター長

さっそく読んでみる

URL <https://www.shiseido-zaidan.or.jp/child-welfare>
または

🔍 「資生堂子ども財団 世界の子ども福祉」で検索



公益財団法人
資生堂子ども財団

お問合せはこちらまで

〒104-0061 東京都中央区銀座7-5-5
sz.info@shiseido.com